

# 馬電菱の実会だより (No. 41)

10周年記念行事 第4弾

## 10月7日(月)に 菱の実会 カラオケ大会 を開催

今年1年間は、馬電菱の実会結成10周年を記念していろいろな催しを行ってまいりましたが、いよいよ記念行事の最後となるカラオケ大会の開催要領が、先般の役員会で次のように決りましたのでお知らせします。ぜひ奮っての参加をお待ち申し上げます。

### 記

日 時 10月7日(月) 午後4時~

会 場 瞳荘 YOU遊ホール

会 費 1,000円 (飲食代として)

賞 品 多数あり

審査員 岡田光枝先生(南ヶ丘在住)ほか

申 込 出場希望者は氏名、歌唱曲名とと

もに9月30日(月)までに事務局へ

その他 ①出場申込者は瞳荘のカラオケ装置の歌唱集より選曲願います

②出場者の歌唱順はプログラム作成の都合上から事務局へ一任願います

③聴講のみの参加者も歓迎します(ただし飲食代はいただきます)



### ◆ おしらせ ◆

① 9月度 グランドゴルフ月例会 開催のお知らせ

●日 時 9月24日(火) 午前9時より ●会 場 利根グランドゴルフ場

●会 費 無料 ●申 込 9/20(金)までに事務局へ

●その他 小雨決行、雨天中止。

② 秋の旅行については正確な日程が決りませんが(補助金をいただく都合上...)、でも11月6~8、11~13日頃の1泊2日を予定しています。詳しくは来月号でお知らせしますが、いまから参加できるよう心がけておいて下さい。

③ 会社・労組共催のゴルフ大会は(今年から菱馬会主催になって)10月28日(月:県民の日)に鳳凰ゴルフ倶楽部(太田)で開催しますが、これも詳しくは来月号でお知らせします。

④ 毎月第一月曜日はカラオケ愛好会の月例会です(会場 瞳荘YOU遊ホール)

## 新会員紹介

## 糸井 功さん (平成8年8月15日定年)

住所 新田町木崎 1196-3 ☎ 0276-56-1286

昭和44年1月入社し、特電工作課温水器係に配属され溶接作業に専念し、28年間溶接ひとすじに頑張ってきたが、いざ定年と思うとちょっと淋しいです。

28年間温水器係の皆さん大変にお世話になりました。後輩の皆さん健康に注意しながら新製品を作り、温水器係の繁栄のために努力してほしい。

定年後は私なりに人間対人間のふれあいを多く持ち、地域社会の人たちとの交流を図り、自分自身を磨き21世紀に挑戦したい。

菱の実会の皆様には今後ともよろしくお願ひします。



## 石塚 省二さん (平成8年8月15日定年)

住所 新田町木崎 464-6 ☎ 0276-56-0528

昭和44年2月入社、生産技術課工具係に配属になり、工具、計測器など管理業務13年間、金型管理2年間、その後計測管理（現在菱馬テクニカに移管）12年間を経て、平成8年8月をもって無事定年を迎えることができました。在職中の27年、永きに渡り大変お世話になり心から感謝いたします。

退職後は趣味のカラオケ、つり、家庭菜園などに親しみ、悔いのない第二の人生を過ごしたいと思います。

これからは菱の実会員の皆様がたにはいろいろとお世話になりますが今後ともよろしくお願ひいたします。



## 富宇賀 昇さん (平成8年8月20日定年)

住所 尾島町太子町 71 ☎ 0276-52-0755

昭和35年8月に入社し、プレス、工具係、昭和53年から工部温水器、石油ファンヒータなどの作業を経て、平成4年菱馬テクニカに出向となりました。

おもに温水器の据付工事、エアコン取り付け、その他配管工事を行い、かたわら建築配管、電気工事士、指定工事店の資格を得ましたので、定年後は健康に注意し、第二の人生として、身につけて技術を生かしていきたいと思っています。

退職後菱の実会へ入会させていただくとともに、今まで以上のご指導をよろしくお願ひいたします。



## 会員投稿

## すばらしい仲間たちとの出会い(3)

太田市 小暮 文夫

(前号までの話) 入学した専門校で、仲間12名と胸ふくらませて学習に臨んだが…

1週間の講義が終ると基本実技である。実技実習といつても学校にすべての教材があるわけではなく、館林邑楽地区の造園業者を巡回し指導を受けるわけです。造園業者といつても小さい業者でも3千坪、大きい業者では5千~1万坪の造園を所有しているのです。よくもこんな広い土地を持ち、植木を育成し、管理できたものだとびっくりしました。我われ一般家庭では数本の植木とつつじやさつき程度で、現場に入った人でないととうてい想像できないと思います。

私たちの作業スタイルは西部劇の二丁拳銃スタイルそのものです。実技の実習ですが、どの造園業者でもこれが実習専用の木というものはありません。ちょうど我われが始めた頃は、植木の王様といわれる松のミドリ(新芽)摘みの最盛期で、作業には生徒全員真剣であった。

一般に我われの教材には、広い土地に何千本も所狭しと植え込んである樹木の下刈りから始まるのが一般的であるが、我われにとって取り組みやすくするための先生方の配慮であったようである。初めははしごや三脚に登って作業すると、緊張のあまり足が痛くなったり、震えたりして大変でしたが、3日もすると慣れました。

下から見ると3㍍の三脚の高さはたいしたことなく見えますが、身長がプラスされると5㍍にもなりますので、高所での作業は緊張の連続でした。しかし1ヶ月もすると環境にも慣れ、体調もすこぶる良い、仲間との意気も合い会話もはずむ。

この仲間たちの経験がおもしろい。農協職員、銀行員、大型車や会社役員専用車の運転手、商社マン、大手製造業出身者といった人たちで、誰一人として過去の地位や栄光を引きずりながらの暗い人はいなく、皆明るい。

6月も後半に入ると気温も上がり汗だくの毎日です。前にも述べたが、広い土地に何千本も植えてある樹木、業者も管理が行き届かずジャングル化しているのが実態である。当然その中の実習であるから、蚊や毛虫の大群に襲われたり、すずめ蜂の巣や蛇に時どき出喰わす。毒蛇はいないものの、すずめ蜂には閉口した。高所作業の危険もさることながら外敵にも細心の注意を払わなければならない。

7月に入ると気温はどんどん上がり梅雨期があけると日陰のない作業現場では外気温度36~7度、舗装された路面では52度にも達し汗でぐっしょり、1日3回の衣替えとなる。汗を流し目標を一(イリ)にした人たちの仲間意識は高い。お互いに助け合い、励まし合っての猛暑の中の実習である。希望して入ったからには落後するわけにはいかない。まもなく夏休みがくる頑張ろうを合言葉に頑張り抜いた。(つづく)



向かって左が筆者

## 三菱電機労組群馬支部の新役員紹介

今年は労組役員の改選期（任期は2年間）にあたり、8月16日から新年度役員が次のように決りましたのでお知らせします。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 委員長 森田 茂（留任・専従）   | 執行委員 脇坂 徹（留任・非専）  |
| 副委員長 福島 俊明（留任・非専） | 執行委員 関 潤一郎（新任・非専） |
| 書記長 対比地弘志（新任・専従）  | 執行委員 佐藤 邦彦（新任・非専） |

なお中澤光男委員長は庶務厚生課長として、広瀬充男副委員長、黒岩裕之執行委員はそれぞれ今までの職場で、職務に専念することになりました。

「ご協力に感謝、益々のご発展を」 中澤 光男

残暑きびしき折皆様お元気ですか。

さて私は本年度支部役員改選を期に委員長を退任致しました。想えれば昭和49年より組合専従となり、今日まで22年間労働運動ひとすじに身を投じてまいりました。

この間、菱の実会会員の皆さんには在職中のご指導をはじめ、菱の実会運営のご協力など大変お世話になりました。改めて厚く御礼申し上げます。

「馬電菱の実会」の設立は私が書記長の時でした。事務局を命ぜられ、準備会を結成し、会則や活動内容などをまとめさせていただきました。

そして今年早いもので丸10年が経過しました。活動も年々充実し、会員皆さんのコミュニケーションは元より健康増進、趣味や生き方など幅広く推進されていますことは大変素晴らしいことがあります。

また事務局の下山町議のご尽力により定期発行しております「馬電菱の実会だより」は会員相互の情報交換の場として楽しく興味のある紙面であります。

どうか今後もこうした努力を継続していただき、年々増加します新会員が「第二の人生の生きがいの場」として充実、発展されることを祈念しております。

私の新職務は庶務厚生課（新設）です。新人の気持ちでチャレンジしています。

最後に会員皆さんのご健勝を祈りつゝ退任のご挨拶と致します。 以上



編集後記 今年は「三菱ねぶた」運行に菱の実会員に参加いただきました。この尾島ねぶたまつりにゆかりの「大館御前」は、関ヶ原の戦いの西軍総大将石田三成の実娘の辰子である（しかも尾島に住んでいた）ことが、尾島町民にさえあまり知られていないのは残念…。今後折をみて歴史の宝庫尾島を紹介したい。 (下山)